

## 後期基本計画 令和 2年度 基本施策方針評価書

政 策 : 05 学びにより充実した人生を送ることができるまち

基本施策 : 05 学びの環境の充実と文化芸術の継承

主管課長職・氏名	文化振興課長 菅原 栄一
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の令和 2年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

		湖山図書館や埋蔵文化財センターなど学びの場としての文化施設の環境を整えるとともに、伝統文化や芸術を次世代へ継承します。また、郷土に愛着を持ち郷土理解を深め地域活動に活かす環境を構築することにより、一人一人が幸福感を得られる環境づくりの確立を目指します。						
--	--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮ら し 単 位 人以上 滝沢市芸術祭・郷土芸能まつりの入場者数	3,062	2,630	2,630	2,630	2,630	2,630	A
			4,244	1,181	-	-	-	435.4
2	幸 福 単 位 % 趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合	18.4	18	20	22	25	25	B
			19.4	22.7	-	-	-	65.2
	単 位							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施 策 名 施 策 目 標 指 標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮ら し 単 位 % 05050100 学べる・活かせる環境づくり 趣味の教室や講座に参加するなど、自ら学ぶ機会を持っている人の割合	29.2	27	28	29	31	31	B
			30.3	30.7	-	-	-	83.3
2	暮ら し 単 位 人以上 05050200 文化芸術の振興 滝沢市芸術祭・郷土芸能まつりの入場者数	3,062	2,630	2,630	2,630	2,630	2,630	A
			4,244	1,181	-	-	-	435.4
	単 位							
	単 位							
	単 位							

## 後期基本計画 令和 2年度 基本施策方針評価書

政 策：05 学びにより充実した人生を送ることができるまち

基本施策：05 学びの環境の充実と文化芸術の継承

主管課長職・氏名	文化振興課長 菅原 栄一
関係課長職・氏名	

## 2. 基本施策の実現に向けての令和 2年度までの取り組み状況を分析する

## (1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> <li>「学びの環境の充実と文化芸術継承の確立」の実現に向け、「学びの環境整備」の取り組みを行いました。</li> <li>「文化芸術活動の基盤強化」については、芸術文化協会の事務局体制を支援し、芸術祭を共催で開催しました。しかし、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、一部の部門については開催しませんでした。</li> <li>「学びプランたきざわ」の実現に向けて文化振興の施策を展開しました。</li> </ul>	

## (2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、令和 2年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館の利用促進及び郷土資料の充実並びに複合交流施設との情報共有・連携により、学べる環境の充実に努めます。</li> <li>芸術祭のあり方検討、芸術文化協会の支援、文化財の掘り起しと保護、民俗資料の活用及び学習機会の提供に努めます。</li> </ul> <p>【重点課題に対応した達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複合交流施設との感染症対策連携により、安全に学べる環境の提供に努めました。</li> <li>民具保管庫について児童の見学受入を可能としましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で実績はありませんでした。</li> </ul>	

## 3. 基本施策の実現に向けての令和 2年度実施後での変化を認識する

## (1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術文化協会等各種団体会員の高齢化による会員数の減少が問題となっており、若年層の参加が求められています。</li> <li>スマートフォンの普及により、主に若者の読書離れが進んでいます。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響による施設利用及び団体活動の自粛に対する利用促進並びに支援が必要です。</li> </ul>	

## (2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>政策達成のため、引き続き同一内容の基本施策の実施が必須であるため、見直しの必要はありません。</p>	

## 4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

## (1) 令和 4年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、利用しやすい図書館利用の促進及び一人一人が学べる環境の充実に向け、利用者のニーズを捉えた蔵書の充実並びに市民の学習支援に関する取り組みを進めます。</li> <li>郷土芸能伝承活動及び文化芸術振興を引き続き支援します。</li> </ul> <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館利用者数の向上及び移動図書館車による図書館遠隔地へのサービスの維持並びに図書ボランティアの育成を図ります。</li> <li>文化芸術振興において、発表の場となる芸術祭や郷土芸能まつりの継続及び関係団体への支援を行います。</li> <li>郷土理解推進事業の継続及び指定文化財等の管理を進めます。</li> </ul>	

